

## J:COMホール八王子（市民会館）

視点	施設名	評価項目	No.	6月			9月			12月			3月（年間）			
				所管課評価	所管課コメント	指定管理者自己評価（コメント）	所管課評価	所管課コメント	指定管理者自己評価（コメント）	所管課評価	所管課コメント	指定管理者自己評価（コメント）	期末評価	所管課コメント	指定管理者自己評価（コメント）	
施設の管理・運営を安定して行うことができるか	定量的	スキルアップ研修 3回/年	1	-	9月以降に実施予定である。	第一四半期での実績なし	-	年度末の数値をもって評価する。	7/27 清掃インスペクション管理者研修(1名参加) 8/4 設備インスペクション(1名参加) 9/12 コンプライアンス研修(11名参加) 9/26 清掃インスペクション (3名参加)	-	年度末の数値をもって評価する。	10/20-21 低圧電気取扱業務特別教育 (1名参加) 11/7 マナー接遇研修 (17名参加) 11/7 サービス介助セミナー研修 (20名参加) 12/12 音響研修 (1名参加) 12/12 清掃インスペクション (1名参加)	A	目標を120%以上の数値で達成した。施設管理に必要なスキルの向上に努めており、評価できる。	【年間15回実施した】 （第四四半期末績） 1/12、1/16、1/19、2/2 音響研修（各1名参加） 2/13 清掃インスペクション（3名参加） 2/27 清掃スタッフスキルアップ研修（10名参加）	
		甲種防火管理者、職長・安全衛生責任者教育修了者、第3級陸上特殊無線技士、上級救命技能認定者、サービス介助士、防災介助士、舞台機構調整技能士など、各資格取得者の適正配置をするともに新規取得に努める。	2	B			事業計画書に沿って、適正に有資格者を配置した。	B		事業計画書に沿って、適正に有資格者を配置している。 7/20 第三級陸上特殊無線技士 (1名新規取得)	B		事業計画書に沿って、適正に有資格者を配置した。	B	【年間を通して有資格者を適切に配置し、資格の新規取得に努めた】 （第四四半期末績） 1/11、2/10、2/15、2/20 上級救命講習 (2名新規取得、2名再取得) 1/31 防火・防災管理再講習 (1名受講) 2/1,8 2級舞台機構調整技能士 (1名新規取得)	
		管理業務の実施に係る固有の銀行口座を開設しているか 【確認資料例：銀行口座】	3	B			管理業務の実施に関わる固有の銀行口座を開設しており、継続して使用している。	B		管理業務の実施に関わる固有の銀行口座を開設しており、継続して使用している。	B		管理業務の実施に関わる固有の銀行口座を開設しており、継続して使用している。	B	ヒアリング後に通帳を確認した。	【管理業務の実施に関わる固有の銀行口座を開設しており、継続して使用した】
		団体の経営方針が明確であり、きちんとした経理がされていること	4	B			ホールの経理システムを使用し、効率化、明確化を図っている。	B		ホールの経理システムを使用し、効率化、明確化を図っている。	B	監査では、膨大な資料の準備やヒアリングへの対応など様々あったが、適切に対応されていた。	ホールの経理システムを使用し、効率化、明確化を図っている。 12/6 市の経営改革課による経理状況調査があったが、指摘事項はなかった。 12/22 令和4年度財政援助団体等監査の結果が通知されたが、指摘事項はなかった。	B	ヒアリング後に会計帳簿を確認した。	【年間を通してホールの経理システムを使用し、効率化、明確化を図った】
		利用料金、使用料の徴収は適正に行われているか 【確認資料例：独立した会計帳簿・日報、月報・使用料等収納（徴収）事務委託契約書・銀行口座】	5	B			適正に行っている。	B		適正に行っている。	B		適正に行っている。 12/22 令和4年度財政援助団体等監査の結果が通知されたが、指摘事項はなかった。	B	ヒアリング後に利用料金の徴収状況等を書類で確認した。	【年間を通して利用料金の徴収を適切に行った】 第四四半期も適正に行っている。
		収支計画が適正であること	6	B			市の所管課との定例会議で月次報告書の提出及び利用状況、予算の執行状況等の報告を行っている。	B		市の所管課との定例会議で月次報告書の提出及び利用状況、予算の執行状況等の報告を行っている。	B		市の所管課との定例会議で月次報告書の提出及び利用状況、予算の執行状況等の報告を行っている。	B	著しい物価高騰により、光熱水費に不足が生じたが、執行状況や年度内の執行見込みを精緻に報告いただいたことで、不足額の確保を適切に行うことができた。	【年間を通して収支計画に沿って適正に執行した】 市の所管課との定例会議で月次報告書の提出及び利用状況、予算の執行状況等の報告を行っている。
		管理運営がきちんとできる職員体制や研修体制がとれていること	7	B			各館技術担当者をメンバーに「ホール会議」を月1回WEB会議で行なっている。事故情報や運営の問題点等、常に最新の情報を共有し、J:COMホール八王子の管理運営に活かしている。	B		各館技術担当者をメンバーに「ホール会議」を月1回WEB会議で行なっている。事故情報や運営の問題点等、常に最新の情報を共有し、J:COMホール八王子の管理運営に活かしている。	B		各館技術担当者をメンバーに「ホール会議」を月1回WEB会議で行なっている。事故情報や運営の問題点等、常に最新の情報を共有し、J:COMホール八王子の管理運営に活かしている。	B	他施設での、ヒューマンエラーによるミスなどの情報を共有し、運営の改善につなげている。全国の様々な文化施設管理している指定管理者の特性を活かした取組である。	【年間を通して適切な人員配置や育成を行った】 各館技術担当者をメンバーに「ホール会議」を月1回WEB会議で行なっている。事故情報や運営の問題点等、常に最新の情報を共有し、J:COMホール八王子の管理運営に活かしている。
		給与の支出が適切に行われているか 【確認資料例：給与規程・賃金台帳】	8	B			適切に行っている。	B		適切に行っている。	B		適切に行っている。	B		【年間を通して給与の支出を適切に行った】 第四四半期も適切に行っている。
		施設の管理運営を安定して行う能力を有しているか	9	B			新型コロナウイルス感染拡大の影響は受けているものの、施設の管理・運営は支障なく行っている。	B		新型コロナウイルス感染拡大の影響は受けているものの、施設の管理・運営は支障なく行っている。	B	利用率が90%を超え、平時と変わらない利用状況となった。	新型コロナウイルス感染拡大の影響は若干残っているものの、施設の管理・運営は通常に戻りつつある。	B		【年間を通して健全な経営状態を維持した】 新型コロナウイルス感染拡大の影響は若干残っているものの、施設の管理・運営はほぼ通常に戻っている。
			10	B			業務の一括委託が行われていないか 【確認資料例：第三者への一部事務委託に関する承諾書・事業報告書・実地調査・会計帳簿】	B		適切に実施している。 第三者への一部業務委託については、市と協議し承諾を得ている。	B		適切に実施している。	B	第三者に委託した業務の経費について、ヒアリングで確認した。	【年間を通して施設の管理運営を適切に実施した】 第四四半期も適切に実施している。
施設の運営において公共性、公平性、公正性が図られているか	定量的	開館日数 350日/年	11	-	年度末の数値をもって評価する。	第一四半期 91日	-	年度末の数値をもって評価する。	第二四半期 92日 （累計 183日）	-	年度末の数値をもって評価する。	第三四半期 89日 （累計 272日）	B	目標を達成したことは評価するが、期末評価をAとする基準に満たないため、B評価とする。	【開館日数実数：年間359日】 （第四四半期）87日	
		設備点検 26回/年 （設備12回、舞台設備10回、消防設備2回、高所作業1回、ITV設備1回）	12	-	年度末の数値をもって評価する。	第一四半期 7回 【設備3回、舞台設備3回（舞台2回、照明1回）、消防設備1回】	-	年度末の数値をもって評価する。	第二四半期 7回 【設備3回、舞台設備3回（舞台2回、音響1回）、ITV設備1回】 累計：14回	-	年度末の数値をもって評価する。	第三四半期 6回 【設備3回、舞台設備2回（舞台1回、照明1回）、高所作業1回】 累計：20回	B	目標を達成したことは評価するが、期末評価をAとする基準に満たないため、B評価とする。	【設備点検実績：年間26回】 （第四四半期）6回 【設備3回、舞台設備2回（舞台1回、音響1回）、消防設備1回】	
		ピアノ等備品点検 12回/年 （ピアノ 保守点検2回、定期調律10回）	13	-	年度末の数値をもって評価する。	第一四半期 3回 （保守2回、調律1回） 試弾4回	-	年度末の数値をもって評価する。	第二四半期 3回 累計：6回 （調律3回） 試弾6回	-	年度末の数値をもって評価する。	第三四半期 3回 累計：9回 （調律3回） 試弾3回	B	スタインウェイとヤマハのピアノを備えているが、いずれも適切に管理しており、良い状態に保たれている。	【ピアノ等備品点検実績：年間12回実施した。さらにピアノの品質保持のための試弾を年間16回行った】 （第四四半期末績）3回（調律3回） 試弾3回 指弾のうち1回は、プロによるもので、ホールの響きやピアノの音色について高い評価をいただいた。	
		利用者が公平に施設利用ができるよう、配慮されていること	14	B			第一四半期は開館日数、開館時間ともに計画通り実施した。	B		第二四半期は開館日数、開館時間ともに計画通り実施した。	B		第三四半期は開館日数、開館時間ともに計画通り実施した。	B		【年間を通して計画通り実施した】 第四四半期も開館日数、開館時間ともに計画通り実施した。 ※サザンスカイタワー八王子全体で停電を伴う点検作業があったため、3/7は17時までの開館とした。
		減免の申請手続がなされた場合、適正に処理されているか（※該当の場合） 【確認資料例：減免申請書・事業報告書・減免申請に係る帳簿】	15	-			第一四半期での実績なし	-		第二四半期での実績なし	B		1件減免申請あり。適正に処理を行った。	B	減免申請書等により、対応状況を確認した。	【減免申請：年間1件申請があった。年間を通して適正に処理を行った】 （第四四半期での実績なし）

令和4年度モニタリングシート【J:COMホール八王子】

視点	評価項目	No.	6月			9月			12月			3月(年間)			
			所管課 評価	所管課 コメント	指定管理者 自己評価(コメント)	所管課 評価	所管課 コメント	指定管理者 自己評価(コメント)	所管課 評価	所管課 コメント	指定管理者 自己評価(コメント)	期末 評価	所管課 コメント	指定管理者 自己評価(コメント)	
定性的	文書の管理・保存が適切に行われているか 【確認資料例：ファイル基準表(なければそれに準ずるもの)・実地調査】	16	B		ファイル基準書を作成し、継続的に文書の管理・保存に努めている。	B		ファイル基準書を作成し、継続的に文書の管理・保存に努めている。	B		ファイル基準書を作成し、継続的に文書の管理・保存に努めている。	B	ヒアリング後に基準書を確認した。	【年間を通して文書の管理・保存に努めた】 第四四半期もファイル基準書を作成し、継続的に文書の管理・保存に努めている。	
		施設の公共性、公平性について継続性が保たれているか 【確認資料例：事業報告書・実地調査】	17	A	市が文化庁に申請する書類の作成を支援するとともに、施設の中長期保全計画の作成も適切に進めている。指定管理者のノウハウを活かした取組であり評価できる。	・中長期保全計画書作成(R5~9)、見直しを行う。 ・市が申請する、文化庁の「文化施設の活動継続・発展等支援事業」補助金の申請書類のうち、整備計画を作成した。	B		・市が申請した、文化庁の「文化施設の活動継続・発展等支援事業」補助金の申請が通り、事業完了に向け、委託先と調整を行った。 ・多機能トイレ内のトイレトパーパーホルダーに不具合が有り、本体交換の際に設置位置の見直しを行い改善を図った。	A	機器を整備する際に、整備事業者にはアヒアリングを行い、報告書ではわからないような細かな部分まで把握し、改善につなげていた。機器の長寿命化に資するものであり、評価したい。	文化庁の補助金により、予防保全として舞台システム・1, 2, 3階客席システム・ホワイエシステム・リハーサル室システム・5階楽屋システム空調機整備を実施している。整備の際に、委託先にヒアリングを行うなど、機器の状況を確認し、運用上改善等が必要な箇所を把握するとともに一次対策を行った。また今後の対応を検討している。 また、不具合が発生した下手オーケストラピット乗込口扉電気錠の交換を行った。	A	館内のNTTドコモの電波の状況が良くないことから、NTTドコモに相談し、状況を詳しく調査してもらった。その結果、電波の増幅器を無償で提供してもらえることとなり、改善につなげた。 指定管理者のノウハウを活かした、適切な施設保全に努めており、評価できる。	【年間を通して修繕等、施設保全を適切に行った】 第三四半期の空調機整備を踏まえ、さらに改善が必要と判断した内容について、委託先と具体的な対策を検討し、令和5年度に実施を予定。 4階楽屋側(上手・下手)のドコモ電波通信改善の為、2箇所を増幅器を設置し、館内通信の改善に努めた。 清掃のスポット作業として、館内壁面タッチペイント、楽屋床面と更衣台カーベットの張替え、5階楽屋前姿見に飛散防止抗菌フィルムと枠を設置し、施設整備に努めた。
			18	B		日常業務の中で、適切に管理している。	B		日常業務の中で、適切に管理している。	B		日常業務の中で、適切に管理している。	B	市から備品の照会を行った際に、全ての備品を照会した。	【年間を通して備品の管理を適切に行った】
施設サービスの向上、利用者の増加等を図る方策が図られているか	定量的	利用者数 16万人/年	19	-	年度末の数値をもって評価する。第一四半期では、利用者数は概ね半年並みの水準に戻ったとのこと。	69,673人	-	年度末の数値をもって評価する。 7月に高校生のダンスの大会があり、利用者数が大きく増加した。	79,720人 (累計：149,393人)	-	年度末の数値をもって評価する。	73,067人 (累計：222,460人)	A	目標の120%以上の数値で達成したことから、A評価とする。	【利用者数：年間281,189人】 (第四四半期実績) 58,729人
		時間延長利用件数 100件/年	20	-	年度末の数値をもって評価する。	40件	-	年度末の数値をもって評価する。	35件 (累計：75件)	-	年度末の数値をもって評価する。	45件 (累計：120件)	A	目標の120%以上の数値で達成したことから、A評価とする。本年度は、前延長の利用が多かったとの報告があった。	【時間延長利用件数：年間153件】 (第四四半期実績) 33件
		興行系公演の誘致活動 30件/年	21	-	年度末の数値をもって評価する。	12件	-	年度末の数値をもって評価する。	9件 (累計：21件)	-	年度末の数値をもって評価する。	5件 (累計：26件)	B	目標を達成したことは評価するが、期末評価をAとする基準に満たないため、B評価とする。	【興行系公演の誘致実績：年間35件】 (第四四半期実績) 9件
		舞台人件発注件数 (ワンストップサービス) 20件/年	22	-	年度末の数値をもって評価する。	4件	-	年度末の数値をもって評価する。	0件 (累計：4件)	-	年度末の数値をもって評価する。	6件 (累計：10件)	B	目標を達成したことは評価するが、期末評価をAとする基準に満たないため、B評価とする。	【ワンストップサービス対応件数：年間21件】 (第四四半期実績) 11件
		ホームページアクセス件数 30万件/年	23	-	年度末の数値をもって評価する。	124,983件	-	年度末の数値をもって評価する。	96,120件 (累計：221,103件)	-	年度末の数値をもって評価する。	86,230件 (累計：307,333件)	A	目標の120%以上の数値で達成したことから、A評価とする。	【ホームページアクセス件数：年間407,397件】 (第四四半期実績) 100,064件
		利用者満足度 90%/年	24	-	年度末の数値をもって評価する。	100.0%	-	年度末の数値をもって評価する。	97.5% (累計：98.9%)	-	年度末の数値をもって評価する。	98.3% (累計：98.6%)	B	年間を通じて高い水準を維持し、目標を達成したことを評価したいところだが、期末評価をAとする基準に満たないため、B評価とする。	【利用者満足度：年間98.9%】 ※利用者アンケート187枚回収中185枚満足 (第四四半期実績) 100.0%
		指定管理者が行う自主事業の参加者満足度 80%/年	25	-	年度末の数値をもって評価する。	第一四半期での実施なし	-	年度末の数値をもって評価する。 夏休みを行う自主事業が多いため、実施が第二四半期に集中した。 いずれも参加者から高い満足度を得ており、評価できる。	8/7 響き渡るワタシvol.12：100.0% 8/22 化石を探そう!?:100.0% 8/22 ロビーコンサートvol.4：86.1% 8/30 第9回避難訓練体験コンサート：83.7% (累計：87.4%)	-	年度末の数値をもって評価する。	11/18 響き渡るワタシvol.13：83.3% 11/22 ロビーコンサートvol.5：78.0% 11/22 化石を探そう!?:90.9% (累計：86.6%)	A	いずれの事業についても、参加者から高い満足度を得ており、目標を達成した。毎年行う事業でも、少しずつ改善を重ねており、工夫して新たな要素を取り入れている。積極的に取り組む姿勢を評価したい。	【参加者満足度：年間90.1%】 (第四四半期実績) 1/16 ロビーコンサートvol.6：83.0% 1/16 化石を探そう!?:100.0% 2/12 第11回吹奏楽の響演“響き渡る”：99.5% 2/23 響き渡るワタシvol.14:84.6%
指定管理者が行う参加型事業への参加者数 1,500名/年	26	-	年度末の数値をもって評価する。	第一四半期での実施なし	-	年度末の数値をもって評価する。	8/7 響き渡るワタシvol.12：17名 8/22 化石を探そう!?:151名 8/22 ロビーコンサートvol.4：120名 8/30 第9回避難訓練体験コンサート：305名 (累計：593名)	-	年度末の数値をもって評価する。	11/18 響き渡るワタシvol.13：13名 11/22 ロビーコンサートvol.5：55名 11/22 化石を探そう!?:21名 (累計：682名)	A	目標の120%以上の数値で達成したことから、A評価とする。本年度は、「化石を探そう」やスタインウェイピアノの演奏体験である「響き渡るワタシ」を複数回行うなど、積極的に取り組んだ。	【自主事業への参加者数：年間2,281名】 (第四四半期実績) 1/16 ロビーコンサートvol.6：73名 1/16 化石を探そう!?:13名 2/12 第11回吹奏楽の響演“響き渡る”：1,492名 2/23 響き渡るワタシvol.14:21名		
定性的	利用者からの苦情処理の体制がとれていること	27	B	指定管理者ではなく、利用者(主催者)側に起因する苦情であるが、適切に対応していた。	コンサートにご来場のお客様から「スピーカーの音量が大きく出演者の声が聞き取りづかった」とのご意見をいただいた。また、お笑いライブにご来場のお客様から「BGM等の音が大きくなるさかった」とのご意見をいただいた。いずれも主催者側で音響の設定を行うものであったため、施設側からそれぞれの主催者へご意見を情報提供した。	B	案内表示がわかりづらいとのご意見をいただいた。具体的な箇所の記載がないため、どの部分かわからないが、今後の点検により、改善を期待したい。	-	ホールご利用のお客様より、「館内・館外の案内表示が分かりづかった」とのご意見をいただいた。案内表示の追加設置等、改善策を検討している。	B	第三四半期では利用者等からの相談、苦情はなかった。	B	【年間を通して利用者からの苦情、相談に適切に対応した】 第四四半期では利用者等からの相談、苦情はなかった。		
定量的	利用料金収入 125,210千円/年	28	-	年度末の数値をもって評価する。	38,978千円	-	年度末の数値をもって評価する。 引き続き新型コロナの影響があるものの、現時点では目標は達成できる見込みである。	37,409千円 (累計：76,387千円)	-	年度末の数値をもって評価する。 まだ新型コロナウイルスの影響はあるが、目標は達成できる見込みである。	B	新型コロナウイルスの影響があるなか、目標を達成したことを評価したいところだが、期末評価をAとする基準に満たないため、B評価とする。	【利用料金収入実績：141,821千円】 (第四四半期実績) 29,433千円		

令和4年度モニタリングシート【J:COMホール八王子】

視点	評価項目	No.	6月			9月			12月			3月(年間)				
			所管課 評価	所管課 コメント	指定管理者 自己評価(コメント)	所管課 評価	所管課 コメント	指定管理者 自己評価(コメント)	所管課 評価	所管課 コメント	指定管理者 自己評価(コメント)	期末 評価	所管課 コメント	指定管理者 自己評価(コメント)		
事業の達成目標が明確で、具体的な事業計画に基づいて事業が行われているか	地域連携事業 10件/年	地域活動や地域産業と連動したイベントなどへの協力	29	-	地域の清掃活動は悪天候等により中止となったとのこと。年度末の数値をもって評価する。	第一四半期での実施なし(第二四半期では市内中学校の職場体験の受け入れを予定している)	-	年度末の数値をもって評価する。	5件 市内中学校の職場体験の受け入れ(4件)、町内会の清掃活動	-	年度末の数値をもって評価する。	6件 市内中学校の職場体験の受け入れ(3件)、市内高校のインターンシップ受け入れ、日本工学院八王子専門学校卒業ライブ体験授業受け入れ、八王子いちよう祭りへの協賛	A	目標の120%以上の数値で達成したことから、A評価とする。本年度は、新たに高校生インターンを受け入れるなど、積極的に取り組まれた。	【地域連携事業件数：年間14件】 (第四四半期実績) 3件 市内中学校の職場体験の受け入れ、八王子夢街道駅競走大会への協賛、町内会の清掃活動	
	チケット販売割合 45%/年 (販売枚数を全体の取り扱い枚数で除して算出する)	(公財)八王子市学園都市文化ふれあい財団へのチケット販売協力	30	-	年度末の数値をもって評価する。	46.0%	-	年度末の数値をもって評価する。	46.1% (累計：46.0%)	-	年度末の数値をもって評価する。	50.2% (累計：47.6%)	B	目標を達成したことは評価するが、期末評価をAとする基準に満たないため、B評価とする。	【チケット販売割合実績：年間46.4%】 (第四四半期実績) 42.4%	
	市民優先枠利用団体 60団体/年	八王子の市民団体に優先的に利用してもらえよう抽選会に市民枠を設定	31	-	年度末の数値をもって評価する。	12団体	-	年度末の数値をもって評価する。	14団体 (累計：26団体)	-	年度末の数値をもって評価する。	23団体 (累計：49団体)	B	目標を達成したことは評価するが、期末評価をAとする基準に満たないため、B評価とする。	【市民優先枠利用団体：年間65団体】 (第四四半期実績) 16団体	
	市民利用(一般利用) 70%/年	市民利用増加の方策を講じる。	32	-	年度末の数値をもって評価する。	45.6%	-	年度末の数値をもって評価する。	56.0% (累計：51.0%)	-	年度末の数値をもって評価する。	68.8% (累計：57.3%)	B	新型コロナウイルスの影響により市民利用が伸び悩み、目標達成に至らなかった。	【市民利用(一般利用)率：年間59.9%】 ※ホール利用292件うち175件が市民利用 (第四四半期実績) 68.1%	
	鑑賞事業への来場割合 70%/年 (来場者数を使用座席数で除して算出する)	鑑賞機会の提供と市民の興味を喚起する。	33	-	年度末の数値をもって評価する。	82.8%	-	年度末の数値をもって評価する。	81.2% (累計：82.0%)	-	年度末の数値をもって評価する。	80.8% (累計：81.6%)	B	目標を達成したことは評価するが、期末評価をAとする基準に満たないため、B評価とする。	【鑑賞事業利用率：年間79.1%】 ※のべ座席数142,550席うち112,755名が来場 (第四四半期実績) 70.0%	
	施設の日数利用率 90%/年	八王子市民会館利用の誘致・拡大を図る運営を行う。	34	-	年度末の数値をもって評価する。	88.2%	-	年度末の数値をもって評価する。	88.6% (累計：88.4%)	-	年度末の数値をもって評価する。	92.3% (累計：89.7%)	B	目標を達成したことは評価するが、期末評価をAとする基準に満たないため、B評価とする。新型コロナウイルスの影響により、上半期は平時の利用率まで至らなかった。	【施設の稼働率：年間91.4%】 ※利用可能日301日うち275日利用 (第四四半期実績) 97.1%	
事業の達成目標が明確で、具体的な事業計画に基づいて事業が行われているか	本市の文化芸術振興に向けた管理運営がされていること	「八王子市文化芸術振興条例」及び「八王子市文化芸術ビジョン」に基づき、本市の文化芸術振興に向けた管理・運営が行われているか【ヒアリング等で確認】	35	A	「響き渡るワ・タ・シ」について、市民会館のスタインウェイピアノを弾く機会を市民に提供するものだが、毎回応募者が多く抽選となっている状況を踏まえ、本年度は回数を増やすこととした。施設の特性を活かした自主事業により、本市の文化芸術の振興を図ろうとする点を評価したい。	8月開催予定の自主事業「響き渡るワ・タ・シ」や「避難訓練体験コンサート」、「J:COMホール八王子で化石を探そう!」の開催に向けて準備を進めている。「化石を探そう!」では前年度に引き続き、国立科学博物館から講師をお招きし、来場者への化石の解説等が行えるよう検討している。	A	夏休みの8月に集中的に自主事業を行ったが、いずれも参加者から好評を得た。「響き渡るワ・タ・シ」は、これまでのアンケート結果を基に、対象者や開催時間、回数を見直すとともに様々な年代の参加が得られるよう積極的に取り組まれている。施設の特性を活かしながら、文化芸術の振興を図ろうとする点を評価したい。	8/7に「響き渡るワ・タ・シvol.12」を実施し、抽選に当選された17名の市民の方々にスタインウェイピアノを演奏していただく機会を提供した。 8/22には「J:COMホール八王子で化石を探そう!」を開催。ホワイエの一般開放には151名が足を運び、市民の方々に壁や床に使用している石材に含まれる化石について周知する機会を設けた。前年度と同様に国立科学博物館から講師をお招きし、小中学生を対象にしたワークショップとして、化石のレプリカ作りと解説講座を開催した。	A	今回の「響き渡るワタシ」は、対象者を18歳以上に絞り、演奏時間を長くしたうえで時間も夜間帯も夜間帯にかけて行うなど、新たな試みを加えた。その結果、新規申込みが増えるとともに好評を得た。より多くの方に発表の場を提供する取組であり、「文化芸術ビジョンの「さきえる」に資するものとして評価したい。	A	11/1~10まで南口総合事務所サイン入りポスター展を行い、約65名に来場いただいた。鑑賞事業への関心を高めることにも、ホールの周知を図ることができた。 また、11/18に「響き渡るワタシvol.13」を開催。今回は「大人のためのコンサート」を副題とし、初の試みとして18歳以上の方を対象に、演奏時間を30分に延長して企画した。演奏時間帯も大人が申し込みやすいよう夜間で時間を設け、初めての方からも多く応募いただいた。抽選に当選された13名の方々に発表の場を提供する取組であり、「文化芸術ビジョンの「さきえる」に資するものとして評価したい。	A	年間を通じてよく取り組みられており、積極的に評価したい。 また、11/18に「響き渡るワタシvol.13」を開催。今回は「大人のためのコンサート」を副題とし、初の試みとして18歳以上の方を対象に、演奏時間を30分に延長して企画した。演奏時間帯も大人が申し込みやすいよう夜間で時間を設け、初めての方からも多く応募いただいた。抽選に当選された13名の方々に発表の場を提供する取組であり、「文化芸術ビジョンの「さきえる」に資するものとして評価したい。	【年間を通して文化芸術振興に向けた管理運営を行った】 (第四四半期実績) 1/16に「化石を探そう!」を開催し、ホワイエの一般開放を行った。 2/2には3年ぶりに「第11回吹奏楽の演奏「響き渡るワタシ」」を実施。チケットは事前に完売し、当日は1,492名が来場された。アンケートでは「久しぶりに見れてよかった」という開催を待ち望んでいた声もあり、J:COMホール八王子の企画として定着してきている。 2/23には「響き渡るワタシvol.14」を開催。今回は初の試みでスタインウェイピアノとヤマハピアノの2台を用意し、弾き比べができるようにした。アンケートでは「2台のピアノの音色の違いを感じられてよかった」という評価の声を多数いただいた。
		(公財)八王子市学園都市文化ふれあい財団と連携し、市民が文化芸術に触れる機会を創出しているか【ヒアリング等で確認】	36	B	右記の取組のほかに、財団が管理運営を担う芸術文化会館、南大沢文化会館の館長との情報共有等の場を新たに設け、更なる連携を模索に努めている。	保守点検日の4/18に財団情報誌「ラトトラ」に掲載するための写真撮影と取材実施場所にホールをお貸しした。また、8月開催の「SEASON'Sコンサート(ロビーコンサート)」に向けて、財団と連携しながら準備を進めている。	B	「ロビーコンサート」は、財団のノウハウを活かした取組であり、「化石を探そう!」と併せて行うことで、相乗効果が得られるよう連携した。市民が文化芸術に触れる機会となっている。	8/22に「SEASON'Sコンサートvol.4(ロビーコンサート)」を実施した(「化石を探そう」と同日開催)。夏休みワタシキッズコンサートと銘打ち、小中学生を対象とした公演に120名が来場された。 8/19の「トイトイ オケストラ!」では財団と連携し、バックステージツアーに協力した。また、財団20周年記念への協力としてサイン入りポスター4枚を貸出した。	B	11/22に「SEASON'Sコンサートvol.5 秋のコンサート(ロビーコンサート)」を実施した。(「化石を探そう」と同日開催)ピアノとチェロで秋らしい探曲を披露いただいた。当日はまたま通りがかり立ち寄ってくださった方もおり、ホールの認知度向上やより身近な施設として親しみを持っていただく機会を創出することができた。	B	財団が管理運営を担う文化施設の館長との会議を定期的に行い、連携が深まったとの報告があった。今後の展開に期待したい。	1/16に「SEASON'Sコンサートvol.6 初春コンサート(ロビーコンサート)」を実施した。(「化石を探そう」と同日開催) 昨年vol.17で開催好評だった等と尺八での演奏を今回も行った。アンケートでは「めったに聞く機会のない箏と尺八の生演奏を間近で聞くことができて良かった」との声をいただき、市民の方々に気軽に文化芸術に触れてもらえる時間を提供することができた。		
	資源の有効活用など環境に配慮した管理運営がされていること	「環境にやさしい八王子市役所エコアクションプラン」及び「八王子市役所環境マネジメントシステム」に基づき、環境に配慮した管理・運営が行われているか【ヒアリング等で確認】	37	A	環境に配慮した取組は徹底しており、また随所に工夫が見られる。施設の特性上、利用者からクリップやクリップペンシルがごみとして排出されるが、使えるものは分別し、消毒のうえ活用している。積極的に取り組んでおり評価したい。	環境マネジメントシステムの取組は全職員に浸透しており、指定管理事業における環境に配慮した取組を日常的に当たり前のこととして行っている。特にごみの分別は徹底しており、利用者が排出したごみについても分別して資源化を図っている。	B	環境マネジメントシステムの取組は全職員に浸透しており、指定管理事業における環境に配慮した取組を日常的に当たり前のこととして行っている。特にごみの分別は徹底しており、利用者が排出したごみについても分別して資源化を継続している。	B	環境マネジメントシステムの取組は全職員に浸透しており、指定管理事業における環境に配慮した取組を日常的に当たり前のこととして行っている。特にごみの分別は徹底しており、利用者が排出したごみについても分別して資源化を継続している。	B	環境マネジメントシステムの取組は全職員に浸透しており、指定管理事業における環境に配慮した取組を日常的に当たり前のこととして行っている。特にごみの分別は徹底しており、利用者が排出したごみについても分別して資源化を継続している。	B	空調機の中性能フィルタは、使用後、一定期間経過すると、廃棄して新品に入れ替えるところだが、洗浄して長く利用できるよう取り組んでいる。空調機メーカーに確認のうえ、フィルタの洗浄を行っている。設備機器に精通した指定管理者の活用した廃棄物削減の取組である。	【年間を通して環境に配慮した施設の管理運営を行った】 (第四四半期実績) 環境マネジメントシステムに基づき、全職員で環境に配慮した取組を行っている。今年度の中性能フィルター交換作業に伴う、フィルター廃棄の削減率は92.4%(容積約5m <sup>3</sup> 削減)の結果となった。また、4階特定管理部分の照明点灯数の削減と点灯時間の短縮を実施することにより、打球廃棄の削減を計画する。	
エネルギーの使用削減施策は実施しているか【ヒアリング・資料等で確認】	エネルギーの使用削減施策は実施しているか【ヒアリング・資料等で確認】	38	B	下記対応により、電気使用量削減を継続中。 ・日常清掃時、日照時間・天候にあわせて照明点灯を管理 ・貸館状況にあわせて清掃員シフト変更を行い、照明点灯時間の短縮 ・コロナ対策(充分な換気対策)により、空調機運転時間の延長を行う中、外気取入れの設定変更・スケジュール変更を適宜実施中。 ・更に当日のイベント終了の状況にあわせて空調を停止し、運転時間の削減を実施中。 ・エレベータ17号機、館内照明安定器の不具合が有り、館内照明器具のLED化を実施。	下記対応により、電気使用量削減を継続中。 ・日常清掃時、日照時間・天候にあわせて照明点灯を管理 ・貸館状況にあわせて清掃員シフト変更を行い、照明点灯時間の短縮 ・コロナ対策(充分な換気対策)により、空調機運転時間の延長を行う中、外気取入れの設定変更・スケジュール変更を適宜実施中。 ・更に当日のイベント終了の状況にあわせて空調を停止し、運転時間の削減を実施中。 ・エレベータ17号機、館内照明安定器の不具合が有り、館内照明器具のLED化を実施。	B	下記対応により、電気使用量削減を継続中。 ・日常清掃時、日照時間・天候にあわせて照明点灯を管理 ・貸館状況にあわせて清掃員シフト変更を行い、照明点灯時間の短縮 ・コロナ対策(充分な換気対策)により、空調機運転時間の延長を行う中、外気取入れの設定変更・スケジュール変更を適宜実施中。 ・更に当日のイベント終了の状況にあわせて空調を停止し、運転時間の削減を実施中。 ・エレベータ17号機、館内照明安定器の不具合が有り、館内照明器具のLED化を実施。	B	下記対応により、電気使用量削減を継続中。 ・日常清掃時、日照時間・天候にあわせて照明点灯を管理 ・貸館状況にあわせて清掃員シフト変更を行い、照明点灯時間の短縮 ・コロナ対策(充分な換気対策)により、空調機運転時間の延長を行う中、外気取入れの設定変更・スケジュール変更を適宜実施中。 ・更に当日のイベント終了の状況にあわせて空調を停止し、運転時間の削減を実施中。 ・エレベータ17号機、館内照明安定器の不具合が有り、館内照明器具のLED化を実施。	B	下記対応により、電気使用量削減を継続中。 ・日常清掃時、日照時間・天候にあわせて照明点灯を管理 ・貸館状況にあわせて清掃員シフト変更を行い、照明点灯時間の短縮 ・コロナ対策(充分な換気対策)により、空調機運転時間の延長を行う中、外気取入れの設定変更・スケジュール変更を適宜実施中。 ・更に当日のイベント終了の状況にあわせて空調を停止し、運転時間の削減を実施中。 ・エレベータ17号機、館内照明安定器の不具合が有り、館内照明器具のLED化を実施。	B	日照時間や施設の貸し出し状況に応じた照明の点灯、空調の運転時間の管理を徹底するなど、細かい省エネの取組を日々行っている。もはや見直しできる箇所がないくらい省エネを徹底しており、設備機器に精通した指定管理者の特性が十分に活かされている。	【年間を通してエネルギーの使用削減施策を実施した】 新たな取り組みとして、4階特定管理部分の照明点灯時間の見直しを防災センターへ申し入れ、ホール側で計画を立案した。実施は令和5年度4月を予定。 また、下記対応により、電気使用量削減を継続中。 ・日照時間・天候にあわせて照明点灯を管理 ・貸館状況にあわせて清掃員のシフト変更を行い、照明点灯時間の短縮 ・貸館時、状況に応じて不要な箇所の照明は消灯、電気や空調のON/OFFの時間はノートに記入し、無駄をなくすようスケジュールを管理 ・5階ホワイエにおいて、天候にあわせてローレスクリーンを操作し省エネ対応		

令和4年度モニタリングシート【J:COMホール八王子】

視点	評価項目	No.	6月			9月			12月			3月(年間)		
			所管課評価	所管課コメント	指定管理者自己評価(コメント)	所管課評価	所管課コメント	指定管理者自己評価(コメント)	所管課評価	所管課コメント	指定管理者自己評価(コメント)	期末評価	所管課コメント	指定管理者自己評価(コメント)
個人情報保護管理及び危機管理が図られているか	防災訓練 4回/年 (総合訓練1回、部分訓練2回、緊急連絡網テスト1回)	39	-		第一四半期での実施なし	-	年度末の数値をもって評価する。	8/4 サザンスカイタワー八王子防災訓練参加(部分訓練) 8/30 避難訓練体験コンサートの実施(総合訓練)	-	年度末の数値をもって評価する。 未実施の緊急連絡網テストは3月までに実施予定である。	12/6 サザンスカイタワー八王子防災訓練参加(部分訓練)	B	目標を達成したことは評価するが、期末評価をAとする基準に満たないため、B評価とする。	【防災訓練回数：年間4回】 (第四四半期実績) 3/24 共立本社を含む緊急連絡網のテスト
	危機管理・安全管理関連研修2回/年	40	-	年度末の数値をもって評価する。	6/1公共建築物日常点検研修(1名参加) 6/27ハロゲン消火設備動作説明会(3名参加)	-	年度末の数値をもって評価する。	9/12 舞台安全研修(10名参加)	-	年度末の数値をもって評価する。	第三四半期での実施なし	A	目標の120%以上の数値で達成したことから、A評価とする。 本年度は新たに八王子警察署と連携して不審者への対応等を学ぶ研修を実施した。11月に施設に不審者が侵入したことを受けて実施することとしたものである。主に窓口職員を対象に行い、危機管理意識を高めた。	【危機管理・安全管理関連研修回数：年間6回】 (第四四半期実績) 1/24 ハロゲン消火設備・舞台スプリングラー動作説明会(8名参加) 3/20 EV緊急停止時救出訓練(2名参加) 3/24 非常時対応研修(28名参加) ※八王子警察署に協力いただき、不審者への対応方法や護身術などを指導していただいた。
	個人情報の取り扱いが適切であること	41	B		個人情報の適切な管理のため必要な措置が講じられているか 【確認資料例：マニュアル・事業計画書(事業計画)・事業報告書】	情報の徹底管理を継続して実施した。市や事業体各社から提供される情報を全職員で共有し、意識の向上に努めている。また、各パソコンにパスワードを設定、個人情報が記載された書類は鍵をかけて保管(鍵は館長が保管)している。さらに、事務所内の関係者以外の無断入室を禁止している。	B		前期に引き続き、情報の徹底管理を継続して実施した。市や事業体各社から提供される情報を全職員で共有し、意識の向上に努めている。また、各パソコンにパスワードを設定、個人情報が記載された書類は鍵をかけて保管(鍵は館長が保管)している。さらに、事務所内の関係者以外の無断入室を禁止している。	B		前期に引き続き、情報の徹底管理を継続して実施した。市や事業体各社から提供される情報を全職員で共有し、意識の向上に努めている。また、各パソコンにパスワードを設定、個人情報が記載された書類は鍵をかけて保管(鍵は館長が保管)している。さらに、事務所内の関係者以外の無断入室を禁止している。	B	【年間を通して個人情報の適切な管理に努めた】 情報の徹底管理を継続して実施した。市や事業体各社から提供される情報を全職員で共有し、意識の向上に努めている。また、各パソコンにパスワードを設定、個人情報が記載された書類は鍵をかけて保管(鍵は館長が保管)している。さらに、事務所内の関係者以外の無断入室を禁止している。
	緊急(防火・防犯等)対応等危機管理体制が取られていること	42	B		指定管理者が加入しなければならない保険に加入しているか 【確認資料例：保険証券】	本年度も各種保険に加入した。 第一四半期での保険適用の案件は発生しなかった。	B		第二四半期での保険適用の案件は発生しなかった。	B		1件保険適用の案件(※)があったが、適切に対応している。 ※10/22オーケストラピット扉の電気錠不具合による利用者転落事故。	B	ヒアリング後に保険の証券を確認した。
		43	B	事故や災害発生時の緊急時の対応が適正に行われたか。また、適正に行えるよう体制が整っているか 【確認資料例：マニュアル・事業計画書(事業計画)・事業報告書】	8月開催予定の「避難訓練体験コンサート」に向けて、東北工業大学及び早稲田大学と連携しながら、より実践的な誘導員の配置について検討していく。 また、日頃より災害時に誘導・避難がスムーズにできるよう体制を整えている。 引き続き、コロナ対策として除菌の効果がある洗剤「Q128」「ウルトラサイドRTU」「ハイジェニック除菌クリーナー」を継続して使用し、感染拡大防止に努めている。	B	今後、避難訓練コンサートの実施報告会を開催し、関係各所と情報共有を図る予定である。	8/4にサザンスカイタワー八王子の防災訓練に参加し、緊急時の危機管理体制について再確認した。 また、8/30に第9回避難訓練体験コンサートを開催し、計305名に参加いただいた。今回は3年ぶりの開催となった。アンケートでは「避難動線を再確認できてよかった」という感想をいただいた。今後、アンケート等でのご意見をスタッフ全員で共有し、改善につなげていきたい。 引き続き、コロナ対策として除菌の効果がある洗剤「Q128」「ウルトラサイドRTU」「ハイジェニック除菌クリーナー」を継続して使用し、感染拡大防止策継続中。	B	夜間の不審者の侵入や利用者の転落事故など、予期せぬ事態に見舞われたが、いずれも適切に対応していた。	B	1月に、極端な寒さが原因と思われる、火災報知機の誤発報が発生した。ビルの管理組合と連携し、適切に対応していた。	B	【事故等への対応を適正に行うとともに、災害発生時に備え体制を整えた】 (第四四半期実績) 令和2年度から引き続きコロナ対策として、1月に客席・備品の抗菌化を行った。 また、3月に早稲田大学人間科学部佐野研究室と東北工業大学ライフデザイン学部畠山研究室による、第9回避難訓練体験コンサート報告会を実施した。(市役所1名、八王子消防署2名、防災センター2名、ホールスタッフ3名参加)お客様がより安全に安心して避難ができるよう、引き続き各スタッフの熟練度の向上に努める。 コロナ対策として継続して除菌の効果がある洗剤を使用し、感染拡大防止に務めた。

B

期末総合評価	
所管課コメント	<p>【施設の管理・運営を安定して行うことができるか】 有資格者の配置、職員への各種研修の実施、指定管理業務に係る経理状況などいずれも適正であった。指定管理者のノウハウやネットワークなど、その特性を活かし、安定的に施設の管理運営が行われている。</p> <p>【施設の運営において公共性、公平性、公正性が図られているか】 開館日や開館時間は条例、規則に沿った対応がなされており、設備・備品の点検や修繕も適切に行われている。指定管理者の強みを活かした設備や備品の管理により、施設を快適に利用できる環境が整えられている。</p> <p>【施設のサービス向上、利用者の増加等を図る方策が図られているか】 利用者数は、前年度より増加し、目標を上回った。自主事業は、実施方法や内容を工夫して改善を加え、参加者数は平時の水準まで増加した。施設の利用者満足度、自主事業への参加者満足度のいずれも、高い水準にあり評価できる。</p> <p>【事業の達成目標が明確で、具体的な事業計画に基づいて事業が行なわれているか】 施設の稼働率(利用率)は目標を達成し、91.4%と昨年度の76.5%を大きく上回った。</p> <p>【個人情報保護管理及び危機管理が図られているか】 個人情報の管理は適切になされており、また、危機管理についても高い意識を持って管理運営業務に臨んでいる。施設で発生した機器の不具合や事故への対応も適切になされており、安心して管理運営を任せることができた。</p> <p>【総括】 指定管理者が持つ知識、スキル、ネットワークを活かして、八王子市民会館が魅力的な施設となるよう全般的によく取り組まれていた。令和4年度は、市の財政援助団体等監査があったが、滞滞なく対応いただき、監査結果も特に問題なかった。市や関係機関との情報共有や連携も十分に図られており、ソフト面、ハード面のいずれにおいても、申し分のない管理運営がなされていた。本市の文化芸術のさらなる振興に向け、今後の展開に期待したい。</p>